

各位

2016年11月2日

積水ハウス株式会社

ダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン

これまで1.2万人以上が体験、「家族・家」をテーマにした、世界で唯一のダイアログ・イン・ザ・ダーク
好評の年末年始プログラムを開催

①12月1日～25日『真っ暗の中のクリスマス』 ②1月6日～2月6日『年のはじめのくらやみ』

積水ハウス株式会社(本社:大阪市北区、社長:阿部俊則、以下「積水ハウス」)は、情報発信拠点「SUMUFUMULAB(住ムフムラボ)」(グランフロント大阪・ナレッジキャピタル内)で定期開催しているダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン(本社:東京都渋谷区、代表:志村真介)との共創プログラム、ダイアログ・イン・ザ・ダーク(以下、DID)「対話のある家」の第15回プログラムを、12月1日(木)から開催します。

これまで開催したプログラムの中でも好評だった年末年始プログラムは、クリスマス、及びお正月がテーマ。期間前半は、暗闇の中でやさしいクリスマスを楽しみ、誰かの幸せを願います。後半のお正月プログラムは、実際に墨をすり、書き初めに挑戦します。実施に先立ち、11月4日(金)正午よりWEBでのチケット先行販売を開始します。

①クリスマス・プログラム(12月1日～25日)

『真っ暗の中のクリスマス』

豪華なイルミネーションも素敵だけれど、
 たった一筋の光もない真っ暗の中を、人が作る温もりで照らそう。
 誰かの幸せを願い、自分の幸せも願ってみよう。
 クリスマスはやさしい。



真っ暗の中でワクワクしながら作るクリスマスカードは、見知らぬ誰かの幸せを願いながら

②お正月・プログラム(1月6日～2月6日)

『年のはじめのくらやみ』

朝日を迎える前のくらやみ。
 そんな厳かなくらやみで、心を鎮めてみよう。
 体をほぐしてみよう。そして墨をすろう。
 新春は、たちこめる香りの中での書き初めから。



新しい1年への思いを込めてチャレンジするくらやみの書き初め

■ダイアログ・イン・ザ・ダーク(DID)とは

1988年にドイツで、哲学博士アンドレアス・ハイネッケが発案。参加者は完全に光を遮断した空間の中へ、グループを組んで入り、暗闇のエキスパートである視覚障がい者のアテンドのもと、中を探検し、さまざまなシーンを体験する「ソーシャルエンターテインメント」です。これまで世界39カ国・約130都市で開催され、800万人以上が体験しています。

2013年4月に開設した「DID 対話のある家」は、東京に次ぐ国内2カ所目、関西初のDID長期開催会場です。世界で唯一「家・家族」をテーマに展開し、これまでに1.2万人以上が体験。対話の大切さや人の温かさ、視覚以外の感覚の可能性など、新たな気づきや発見があったなどの声が寄せられています。

本件に関するお問合せ

積水ハウス株式会社 広報部

(大阪) TEL06-6440-3021 (東京) TEL03-5575-1740

■ダイアログ・イン・ザ・ダーク「対話のある家」第15回

①『真っ暗の中のクリスマス』、②『年のはじめのくらやみ』開催概要

- ・開催場所 : グランフロント大阪 北館ナレッジキャピタル4階
積水ハウス「SUMUFUMULAB(住ムフムラボ)」
- ・開催期間 : ①2016年12月1日(木)～12月25日(日)
②2017年1月6日(金)～2月6日(月)
- ・参加料金 : 大人3,500円／学生2,500円／小学生1,500円 (税込)
- ・チケット発売 : 2016年11月4日(金)正午～
- ・定休日 : 火曜日・水曜日
- ・所要時間 : 70分
- ・参加人数 : 各回6人まで
- ・申込方法 : 予約状況確認・申込はWEBから <http://www.sumufumulab.jp/did/>
- ・「対話のある家」お問い合わせ事務局: 0120-29-2704 (11:00～18:00 ※土日祝日除く)

■DIDと積水ハウスの共創プログラム「対話のある家」について

積水ハウスは「生涯住宅」の思想のもと、長年にわたり「スマートユニバーサルデザイン」などの研究活動を続けてまいりました。

その一環として、「感じる力」「関係性の回復」「多様性を認める」を目的に、対話する場を提供し続けるDIDとの共創プログラム「対話のある家」を実施。「純度100%の暗闇」の中で、住まいにおける様々な生活シーンを体験し、日常では得られない気づきやコミュニケーション向上の機会を提供します。

さらに、ブランドビジョン「SLOW & SMART」を実現する、住まいの快適性を深化させる研究にも活かしてまいります。



見て触れて楽しめる「DID 対話のある家」の展示コーナー

■これまでの開催実績

- ・開催日数:2013年4月26日から開始、開催日数は計583日間(2016年10月23日現在)
- ・参加者数:12,003人／性別:男性41%、女性59%
- ・年代:10代以下11%、20代26%、30代25%、40代22%、50代12.5%、60代以上3.5%
- ・クリスマス、お正月など、季節ごとに毎回異なるプログラムを開催、体験するたびに新しい発見が得られるとの声も多数いただいております。

■前回の年末年始プログラム体験者の声

- ・暗闇の中のクリスマスってどんなものだろうと思いながらワクワクして参加しました。体験してみて、いつも何気なく行っていることがすごく特別なものを感じました。(女性)
- ・日常、見ることで情報にふれていることを再確認しました。「見ること」の大切さと他の感覚の大切さの両方を大事にして1年を過ごします。(34歳 男性)
- ・今日で3回目でしたが、来るたび来るたび「慣れ」ではなく、全く初めての世界に飛び込んだ感覚になりました。(48歳 女性)
- ・クリスマスに続いて2回目の体験でした。前回とは全く空間の感覚が違って、庭で遊んだり書道をしたり、とても楽しく過ごすことができました。暗闇の中で情報交換をするコミュニケーションは、相手のことを思い、伝えあうのが自然になるから好きです。また知り合いを誘って来たいです。(50歳 女性)